

彙 報

研究活動等 (2013年1月～2013年12月)

総合政策学科

熊谷 隆一

1. 学会報告

(1) 学会ポスターセッション (共同)

「よつびし総研の2012年度活動報告 ～学生による甲府中心街活性化活動～」富士学会2013年春季学術大会 (2013年6月1日、富士宮市文化会館)

(2) 学会シンポジウム司会

「甲府から富士を望む、楽しむ、安らぐその社会的・経済的意義 ～富士山世界文化遺産登録に伴う甲府の観光客誘致構想～」富士学会2013年秋季学術大会 (2013年10月26日、山梨県立大学飯田キャンパス)

(3) 大会委員長

富士学会2013年秋季学術大会 (2013年10月26日、山梨県立大学飯田キャンパス)

2. 報告書 (編著)

(1) 「よつびし総研パンフレット2012-2013」(甲府城南商店街振興組合他協賛プロジェクト、3月20日発行)

3. 評論 (単著)

(1) 「七年目の再スタート～関谷新代表の挑戦～」(『甲府法人会たより第117号』、2013年1月発行)

4. その他

(1) 学会賞受賞

「富士学会 学術賞」受賞(2013年6月1日、2013年度富士学会春季学術大会 in 富士宮市民文化会館)

(2) 社会的活動 (アドバイザー)

「四菱まちづくり総合研究室」教員顧問団幹事 (2007年4月14日～、継続)

(3) 社会的活動 (審議会委員)

「笛吹市総合計画審議会」会長 (2012年5月～2013年6月)

(4) 社会的活動 (委員会委員)

「甲州市行政改革推進委員会」会長 (2012年9月～、継続)

(5) 社会的活動 (オブザーバー)

「甲府タウンレビューチーム会議」オブザーバー (2012年10月～、継続)

(6) 社会的活動 (学会理事)

富士学会理事 (2009年4月1日～、継続)

(7) 社会的活動 (研究員)

(社)神奈川県地方自治研究センター特別研究員 (2005年4月～、継続)

安達 義通

1. 論文

単著 (2013年3月) 'Examining 'Knowledge' in Knowledge Management Literature in the West and Its Relationships to Nonaka's SECI Model' (『山梨国際研究』(山梨県立大学国際政策学部紀要第8号))

2. 編集

編集責任「VISION NO.3 ～山梨県立大学から地域振興を考える～」(2013年3月)

3. 講演他

(1) ミニ講演「『ソーシャルチェンジのおこしかた』を読む」(やまなしコミュニティビジネス推進協議会総会) (2013年7月)

(2) 講演「ソーシャルビジネスの5ステップと課題解決の考え方」(やまなしコミュニティビジネス推進協議会) (2013年9月)

4. 社会的活動 (委員、コーディネーター等)

(1) 委員 (委員長) 韮崎市まちなか活性化計画策定委員会 (韮崎市商工課観光課) (～2013

年3月)

- (2) 審議会委員(会長) 韮崎市第6次長期総合計画(韮崎市企画財政課)(2013年7月~)
- (3) 委員(委員長) 平成25年度事務事業外部評価委員会(韮崎市企画財政課)(2013年11,12月)
- (4) 幹事委員 やまなしコミュニティビジネス推進協議会(2013年1月~12月)
- (5) アドバイザー ワイワイコンソーシアム推進委員会・実行委員会(山梨県社会教育課)(2013年5月~)
- (6) ファシリテーター「やまなしソーシャルビジネススクール」ワークショップ(やまなしコミュニティビジネス推進協議会)(2013年12月)

石山 宏

1. 著書

- (1) 『検定簿記講義/2級商業簿記(平成25年度版)』(共著)中央経済社, 2013年3月
- (2) 『検定簿記ワークブック/2級商業簿記』(共著)中央経済社, 2013年3月
- (3) 『テキスト上級簿記[第4版]』(共著)中央経済社, 2013年5月

2. 学術論文

「ハットフィールドと株式会社会計」日本会計研究学会第72回全国大会 スタディ・グループ『学説研究による会計理論構築の探求』中間報告書 第1部第2章, 2013年9月

3. 学会発表

- (1) 「業種別簿記実務の研究」(共同発表)日本簿記学会第29回全国大会 簿記実務研究部会, 2013年8月
- (2) 「学説研究による会計理論構築の探求」(共同発表)日本会計研究学会第72回全国大会 スタディ・グループ, 2013年9月
- (3) 「IFRSにおける資産会計の総合的検討」(共同発表)国際会計研究学会第30回研究大会 研究グループ, 2013年9月

4. 受賞

日本簿記学会 学会賞(共同受賞)『簿記のススメ-人生を豊にする知識-』2013年9月

大西康雄

1. 論文

単著「政治的活動家の社会ネットワーク認知とパワー: パワーを持つ者は、社会ネットワークをより正確に認知するか?」『山梨国際研究』No.8(2013) pp.33-45

黒羽雅子

1. 著書

- (1) 共著「第2部 財閥と銀行業 第4章 大阪財界と銀行業 - 明治期大阪の経済躍動を担った銀行家たち -」長谷川直哉・宇田川勝編著『企業家活動でたどる日本の金融事業史』白桃書房, 2013年3月, 103-128。

2. 研究ノート、報告その他

- (1) 単著「南北戦争前米国ニュー・イングランド地方における州法銀行免許の取得に関する一考察」地方金融史研究会『地方金融史研究』第44号, 2013年5月, pp.1-10。
- (2) 共著: 地域研究交流センター 2012年度研究報告書『地域資源を活かしたビジネス展開の可能性について』2013年3月。
- (3) 単独「研究報告: 南北戦争前米国における銀行について - 設立手続きを巡って」地方金融史研究会, 2013年6月28日。

澁谷彰久

1. 報告書・雑誌寄稿

- (1) 単著(2013年3月)「高齢者への見守りと地域連携の総合的研究I」
- 市民後見人育成の基礎検討 -
山梨県立大学地域研究交流センター 2012年度研究報告書(総74頁)
- (2) 単著(2013年7月)「高齢者取引に関わる制度の概要と取引時の留意点」
バンクビジネス第47巻第14号通巻849号(14~17頁)

2. 研究助成授与・その他

- (1) 単独(2013年4月)日本学術振興会科学研究費 基盤研究C(一般)
新規採択(研究代表)テーマ:「地域におけ

る成年後見人の役割と法的課題の研究」

- (2) 共同 (2013年4月) 三菱UFJ信託奨学財団平成25年度研究助成案件
テーマ:「民事信託の理論と実務の総合的研究」採択(研究総括・事務局担当)
- (3) 共同 (2013年3月23日) 講演会テーマ:「医療・看護・福祉の現場における本人同意の米国最新事情 アメリカにおける『ヘルスケア・ディシジョン』の法理と運用」コーディネーターを担当。
- (4) 単独 (2013年10月22日) 日独シンポジウム「日本成年後見法制度・ドイツ世話法制度における医療行為と健康配慮」発表テーマ:「高齢者を見守るための地域連携について - 認知症に対する医療と福祉と後見の総合的な取り組み -」
- (5) 単独 (2013年11月4日) the University of Missouri's School of Law での講演「Health Care Decisions by Guardians -Circumstances in Japan-」

玉井 亮子

1. 論文

単著「フランスの市町村間広域連携」『TOYONAKA ビジョン 22』第16巻、2013年、pp.43-49。

2. 学会発表

単独「「移動」する公務員: 職員の移動からみるフランスの政府間関係」日本行政学会、2013年5月。

二宮 浩輔

1. 論文等

- 『都市機能整備と環境社会配慮～発展途上国における戦略的環境アセスメント(SEA)の効果的実施に関する一考察～』、「山梨国際研究」第8号、2013年3月 pp.65-75

2. 学会報告等

- 『アフリカ諸国における戦略環境アセスメント(SEA)制度導入の分析を踏まえた日本型SEAモデルの提案』環境アセスメント学会

第12回大会、2013年9月14日

3. その他

- 文部科学省科学研究費助成研究『国際交流活動を通じた地域資源の発掘と活用—山梨県とカリフォルニア州における実験的研究—』
- 国際協力機構(JICA)環境社会配慮助言委員会委員 ほか

箕浦 一哉

1. 論文

- (1) 共著(2013年3月)「学部専門教育と運動した地域課題対応型サービス・ラーニングの試み」『山梨国際研究』8, pp.9-22.

2. 学会発表

- (1) 単独発表(2013年6月)“Life with weaving noise in Fujiyoshida: A soundscape as a commons”, 14th Global Conference of the International Association for the Study of the Commons, 富士 Calm (山梨県富士吉田市).
- (2) 単独発表(2013年11月)「夕方5時のチャイム」の公共性: 山梨県富士吉田市の取り組みから, 日本サウンドスケープ協会2013年度秋季研究発表会, 千葉県立中央博物館(千葉市).

3. 寄稿

- (1) 単著(2013年5月)「定点観測プロジェクトに参加して」『サウンドスケープ』14, p.21.

4. その他

- (1) シンポジウム・コーディネーター(2013年3月)「山間集落の未来を考える市民フォーラム: 山のくらしの豊かさを守るために」, 主催: 黒平自然の森学校, 於 山梨県立大学飯田キャンパス講堂.
- (2) 指定討論者(2013年11月)ワークショップ「公共政策の決定権は誰にある?: 沖縄と内モンゴルでの迷惑施設をめぐる多様なアクターの正当性」, 日本社会心理学会第54回大会, 沖縄国際大学(宜野湾市).

森田玉雪

1. 論文

- 森田玉雪、馬奈木俊介、山本公香 (2013) 「大震災と地域活動－地域活動への参加意欲」『山梨国際研究：山梨県立大学国際政策学部紀要』第8号、pp.93 - 102.
- 森田玉雪、馬奈木俊介 (2013) 「大震災後のエネルギー・ミックス」、馬奈木俊介編著『環境・エネルギー・資源戦略：新たな成長分野を切り拓く』日本評論社、第7章、pp.135 - 177.
- Higashida, K., Tamaki Morita, S. Managi and Y. Takarada (2013). “Does the acquisition of mines by firms in resource-importing countries decrease resource prices?” *RIETI Discussion Paper Series*, 13-E-073 .
- Uchida, H., Y. Onozaka, Tamaki Morita, and S. Managi (2014). “Demand for ecolabeled seafood in the Japanese market: A conjoint analysis of the impact of information and interaction with other labels.” *Food Policy*, Vol. 44, February 2014, pp. 68-76.

2. 学会報告

- 「東日本大震災後のエネルギー・ミックス－ウェブ調査による需要分析－」、日本経済学会秋季大会、神奈川大学 (2013年9月)

3. 講演

- 「家庭の電気を何からつくる？－もし電源を選べたら－」、県民コミュニティーカレッジ、山梨県立大学 (2013年12月)

4. その他

- 政策研究大学院大学 政策研究科 非常勤講師 (教育政策分析演習 I、特定課題研究)
- 独立行政法人経済産業研究所「原発事故後の経済状況及び産業構造変化がエネルギー需給に与える影響」研究会メンバー
- 杉並区学校運営協議会委員

佐藤正幸

1. 学会活動

1.1 研究発表

(1) “Why has Christian chronology been using in the post-colonial globalizing world?” [International Society of History Didactics Annual Conference], (Tutzing, Germany) 17 September.

(2) “Politics of Chronology : Chronology Wars and the Engaged Historians in non-Christendom 1873-2013” [The International Conference: Historians as Engaged Intellectuals] (Bochum, Germany) 20 September.

1.2 学会役員

(1) Ex Officio (as Past President) of the Board of the International Commission for the History and Theory of Historiography (2010-2015).

(2) Editorial board member of the Berghahn series Making Sense of History.

(3) Advisor of the Chinese Academy of Social Sciences Project Contemporary International Historiography.

(4) 国際学術雑誌 *Historein* 査読委員。

2. 社会的活動等

(1) 国際ロータリー日本地区機関誌編集委員 (2012年7月 - 2013年6月)

(2) 国際ロータリー第2620地区国際奉仕委員 (2013年7月 - 2014年6月)

(3) 甲府ロータリークラブ財団推進委員長 (2012年7月 - 2013年6月)

(4) 野口賞選考委員会委員 (2013年4月 - 2014年3月)。

3. 競争的研究資金

(1) 平成25年度科学研究費：基盤研究B「認識方法としての歴史と規範としての歴史に関する国際的総合研究」(平成22年 - 26年度、研究代表者：佐藤正幸)。

Peter Mountford

1. 論文その他

(1) 単著 (2013年3月)

“English for Elementary School Teachers”

山梨県立大学地域研究交流センター共同研究
「山梨県内の小学校英語教育における指導者の

養成と研修に関する研究」報告書、頁

2. 講演その他

(1) イギリス言語文化講座講師 (2013年2月
13日)

於：山梨県立大学飯田キャンパス

(2) 教員免許更新講習 (小学校外国語活動) 講
師 (2013年7月13日)

於：山梨県立大学サテライト教室

国際コミュニケーション学科

吉川 豊子

【口頭発表】

1. 2013年8月13日
日本近代文学館所蔵佐佐木信綱宛大塚楠緒子書簡について (1)
於：古筆の会
2. 2013年9月10日
日本近代文学館所蔵佐佐木信綱宛大塚楠緒子書簡について (2)
於：古筆の会
3. 2013年10月8日
日本近代文学館所蔵佐佐木信綱宛大塚楠緒子書簡について (3)
於：古筆の会
4. 2013年11月26日
日本近代文学館所蔵佐佐木信綱宛大塚楠緒子書簡について (4)
於：古筆の会
5. 2013年12月10日
日本近代文学館所蔵佐佐木信綱宛大塚楠緒子書簡について (5)
於：古筆の会

伊藤 ゆかり

1. 論文
 - (1) 単著 (2013年3月)「ケネディ劇における幻影としての歴史」、山梨県立大学国際政策学部紀要『山梨国際研究』第8号、pp.23-32
2. その他
 - (1) 単著 (2013年3月)「小学校英語教育指導者トレーニングプログラムを考える」、山梨県立大学地域研究交流センター2012年度研究報告書『山梨県内の小学校英語教育における指導者の養成と研修に関する研究』、pp.48-50
3. 社会活動
 - (1) 山梨県高等学校商業教育研究会 英語スピーチコンテスト審査 (2013年10月15日、於 甲府市クラウンパレス)

高野美千代

1. 論文
 - (1) 単著 (2013年3月)
「17世紀好古学文献の変容と読者の受容」
山梨県立大学国際政策学部紀要『山梨国際研究』第8号、90～99頁
2. 研究活動
 - (1) 地域研究交流センター共同研究「山梨県内の小学校英語教育における指導者の養成と研修に関する研究」による「外国語活動指導者トレーニングプログラム」実施運営 (2013年1月31日～2月4日、於 山梨県立大学)
 - (2) 教員免許更新講習選択科目「外国語活動」実施運営 (2013年7月13日、於 山梨県立大学)
 - (3) 山梨県中巨摩地区外国語活動研究会講演会 講師 講演題目：「外国語教育における小中連携のために」 (2013年8月2日、於 昭和町立西条小学校)
3. 社会活動その他
 - (1) 関東甲信越静地区高等学校国際教育研究協議会主催「第33回英語弁論大会」・「第13回日本語弁論大会」及び「第13回国際理解研究発表大会」審査 (2013年7月11日、於 山梨県立農林高校)
 - (2) 山梨県立大学科研費研修会講師 講演題目：「科研費申請書作成のポイント～基盤研究(C)を例に～」 (2013年9月25日、於 山梨県立大学)
 - (3) 山梨県高等学校商業教育研究会英語スピーチコンテスト審査 (10月15日、於 甲府市クラウンパレス)

千森 幹子

1. 著書
 - (1) 単著 (2013年3月) 'Alice in Japan' *Illustrating Alice: An International Selection of Illustrated Editions of Lewis Carroll's Alice's Adventures in Wonderland and Through the Looking Glass, Artists' Choice Editions*, pp.60-67.
 - (2) 単著 (2013年5月)「日本のアリス挿絵に

見る流れの表象』『ルイス・キャロル・ハンドブッカーアリスの不思議な世界』七つ森書館, pp.206-216.

2. 学会発表

- (1) 単独(2013年10月27日)「花のフェアリーの表象—19世紀から20世紀の図像から—」シンポジウム『fairy・妖精・フェアリーのはざまから、受容を考える：翻訳と表象』日本イギリス児童文学学会第43回研究大会、大阪国際交流センター

張 兵

1. 論文、報告書など

- (1) 「日系外食企業の中国進出の可能性と課題—吉野家、味千ラーメン、サイゼリヤの事例を中心に」『都留文科大学研究紀要』第77集、2013年3月
- (2) 「学部専門教育と連動した地域課題対応型サービス・ラーニングの試み」(共著)山梨県立大学国際政策学部『山梨国際研究』第8号、2013年3月
- (3) 「中国における海洋経済発展戦略の政策展開とその実態—「山東半島藍色経済区発展計画」を事例に」環日本海経済研究所『ERINA REPORT』No.115、2013年12月
- (4) 「中国で人気急上昇中の味千ラーメン：2つの現地化が成功の鍵」『中国ビジネスヘッドライン』、2013年2月3日
- (5) 「日本食の中国進出：安全安心だけでは物足りない」『中国ビジネスヘッドライン』、2013年3月25日
- (6) 「齊の時代からの伝統が生きる工業都市：山東省淄博「油滴」茶碗の産地」『産経新聞』2013年6月17日
- (7) 「東京オリンピック開催は日中相互理解増進の絶好のチャンス」『中国ビジネスヘッドライン』、2013年9月12日

2. 学会・研究会発表

- (1) 「中国が今求める日本の食」第17回やまなし食のビジネス情報連絡会、2013年3月1日ホテルクラウンパレス甲府

- (2) 「成長する中国食品市場と日本企業のビジネスチャンス」第47回都市・地域経済研究会、2013年3月16日同志社大学

名和敏光

1. 論文

- (1) 「關於馬王堆漢墓帛書《陰陽五行》乙篇的資料特徵」『出土文獻』第三輯、清華大學出土文獻研究與保護中心、2012年12月、單著。
- (2) 「馬王堆漢墓帛書《陰陽五行》乙篇の構造と思想」『中國出土資料學の展開』、汲古書院、2013年8月、單著。

2. 招待講演・學會報告

- (1) 「日本所藏醫藥文獻について」醫家與史家的對話—傳統中醫學術知識の歴代傳承與變革國際學術研討會、2013年3月9日、臺灣中國醫藥大學。
- (2) 「清華大學藏戰國楚竹書「傳說之命 中」研究」上海博楚簡研究會、2013年6月22日、東京大學。
- (3) 「清華大學藏戰國楚竹書「傳說之命 下」研究」清華“清華簡”國際學術研討會、2013年8月31日、アメリカ・ダートマス大學。
- (4) 「清華大學藏戰國楚竹書「筮法」等簡介」東アジアにおける術數學への多角的アプローチ、2013年9月14日、韓國ソウル圓光デジタル大學。
- (5) 「〈窺入其阻〉攷」清華簡與詩經研究國際會議、2013年11月1日、香港浸會大學。

3. 研究助成

- (1) 研究代表者、日本學術振興會科學研究費補助金(基盤研究C、研究課題番號:25370047、研究協力者:武田時昌(京都大學人文科學研究所教授))「中國方術理論の遡及的考察」、2013年4月~2016年3月。
<http://kaken.nii.ac.jp/d/p/25370047.ja.html> 参照。

4. 國際學會參加

- (1) 醫家與史家的對話—傳統中醫學術知識の歴代傳承與變革國際學術研討會、2013年3月9日~11日、臺灣中國醫藥大學。
- (2) 達慕斯—清華“清華簡”國際學術研討會——

第四屆新出簡帛國際學術研討會、2013年8月30日～9月2日、アメリカ・ダートマス大學。

http://www.ctwx.tsinghua.edu.cn/publish/cetrp/6835/2013/20131114200837993480510/20131114200837993480510_.html 参照。

(3) 東アジアにおける術數學への多角的アプローチ、2013年9月13～15日、韓国ソウル・圓光デジタル大學校。

(4) “簡帛《老子》與道家思想” 國際學術研討會、2013年10月25～26日、北京市北京大學。

http://www.gwz.fudan.edu.cn/srcShow_NewsStyle.asp?Src_ID=2160

(5) 清華簡與《詩經》研究國際會議、2013年11月1～3日、香港浸會大學。

http://www.ctwx.tsinghua.edu.cn/publish/cetrp/6835/2013/20131114204536922357060/20131114204536922357060_.html 参照。

5. 學會役員・その他

(1) 中國出土資料學會理事、2008年4月1日～現在。

(2) 東京大學東洋文化研究所研究班「中國古代文獻の成立に関する多角的研究」研究員、研究代表者：小寺敦准教授、2009年4月1日～現在。

<http://www.ioc.u-tokyo.ac.jp/project/group.html> 参照。

(3) 京都大學人文科學研究所術數學研究班「術數學—中國の科學と占術」研究員、研究代表者：武田時昌教授、2011年4月1日～現在。

<http://www.zinbun.kyoto-u.ac.jp/~takeda/> 参照。

二戸麻砂彦

1. 學術論文

(1) 単著「仮名創成の本質」(國學院大學『國語研究』第75号、pp.86-99、2013年03月)

平野和彦

1. 國際学会発表

(1) 単独「細井廣澤與其時代 - 文衡山影響日本近世書壇之一側面 -」(慶祝明道大學國學

研究所成立博士班 2013 元明書法國際學術討論會・於明道大學寒梅樓 40A 國際會議廳・2013.4.27.)

2. 論文

(1) 単著「細井廣澤與其時代 - 文衡山影響日本近世書壇之一側面 -」(『2013 元明書法國際學術討論會論文集』pp.269-292・明道大學人文學院國學研究所出版・2013.4.25.)

(2) 単著「康有為と日本郵船宮崎丸の便箋をめぐって」(『山梨國際研究』山梨県立大学國際政策学部紀要第八号 pp1-14・2013.3.31.)

3. エッセイ

(1) 単著「石田先生の万年筆」(『金壺集』石田肇教授退休記念 金石書学論叢 pp.363-366・2013.3.31)

4. エキシビション

(1) ギャラリー・ロア風景画展出品 2013.10.18-10.23.

前澤哲爾

1. 原稿執筆

(1) 地域研究交流センター地域研究報告書「山梨県における農家民泊・体験学習への地域取組についての研究」3月発行

2. 地域プロジェクトの実施

(1) 大学広報誌「Souffle」編集部 第4号発行のため、取材・編集を行う。

説明会：7月9日・10日、会議：7月29日、8月5日、10月21日、取材：12月1日2日。

(2) キャンパスキャラクタープロジェクト～「やまちゃん」の活用

6月9日 JR 甲府駅 110 周年記念イベント、7月27日・28日オープンキャンパス、

(3) 農家民泊プロジェクト (創造学自主ゼミ)

2月18日・3月5日～6日長野県飯田市にて民泊体験、4月30日都留市役所・NPO さいはらと打ち合わせ、5月13日羽野氏と打ち合わせ、25日創造学ワークショップ、7月9日・10日説明会、16日・23日会議、8月8日～9日上野原市西原地区ガイドブック作成取材、10月19日計画会議、11月2日企画会議、

11月9日富士川町で講演、21日道志村長へ協力要請、12月12日県庁で記者発表、14日創造学ワークショップ

3. 理事、委員などの活動

- (1) 山梨県立大学「地域研究交流センター」センター長(～13年3月)
- (2) NPO「政策学校 一新塾」理事・講師(02年10月～)
- (3) 「現代美術センター CCA 北九州」評議員(05年4月～)
- (4) 台東区「東京ダウタウン・アートサポート懇談会」副座長(07年4月～)
- (5) 「したまちコメディ映画祭 in 台東」実行委員会委員(08年1月～)
- (6) 山梨県広聴広報課 CM コンペ審査委員(09年6月～)
- (7) NPO「先端芸術クリエイティブ・センター」理事長(10年5月～)
- (8) 山梨県工業技術センター評議員(10年6月～13年3月)
- (9) 山梨県国民文化祭実行委員会企画委員(10年8月～)
- (10) 「クールジャパンヤマナシ」実行委員会委員長(10年10月～12月)

4. 講演・パネラーなどの活動

- 2月1日テアトル石和「文学シネマアワード」トークショー司会
- 3月26日地域研究交流センター「地域研究報告会」発表
- 5月26日東京・韓国YMCA会館「一新塾入塾式・活動報告」コメンテーター
- 7月10日都留文科大学「映像を使った地域振興～フィルムコミッションとは何か～」講師
- 10月3日東京・一新塾「地域プロデューサー養成講座」講師
- 10月30日韮崎高校「映画から世界を見よう」講師
- 11月3日アイメッセ山梨「クールジャパンヤマナシ」パネリスト
- 11月8日甲府南高校「主体的アプローチ」講師

11月9日富士川町民会館「農家民泊による中間山地の活性化」

11月10日東京・韓国YMCA会館「一新塾入塾式・活動報告」コメンテーター

吉田 均

1. 著作(計5件)

- (1) 博士学位論文(学術)
 - 1) 吉田均、2013年2月、「地方自治体の国際協力とその支援政策に関する総合的研究—補完性の原理による地域主体型開発協力の現状と課題—」、東京工業大学大学院 社会理工学研究科。

(2) 論文ほか(計4件、下記は例示)

- 1) 安藤淑子、佐藤文昭、前沢哲爾、吉田均、熊谷隆一、安達義通、渋谷彰久、張兵、二宮浩輔、箕浦一哉、2013、「学部専門教育と連動した地域課題対応型サービスラーニングの試み」、『山梨国際研究』8号(2013年)、山梨県立大学

- 2) 吉田均、2013、「パートナーシップ提携による地域特性を生かした国際戦略の可能性」、『自治体国際化フォーラム』(2013年7月、285号)、財団法人自治体国際化協会。

2. 発表・講演(計9件)

(1) 国際会議(計2件)

- 1) 吉田均、2013年10月11日)、『第15回日中韓3カ国地方政府交流シンポジウム』(コーディネーター・会議総括)、(財)自治体国際化協会・富山県。

- 2) 吉田均、2013年12月9日)、「自治体レベルでの協力増進方案」、『日韓自治体交流シンポジウム』、駐横浜大韓民国総領事館。

(2) 講演会など(計7件、下記は例示)

- 1) 吉田均、2013年5月16日)、「山梨県での国際協力を活用したインバウンド観光の推進～中国四川省との温泉協力の現状と可能性～」『第3回経済財政に関する山梨コンファレンス』、財務省関東財務局甲府財務事務所

- 2) 吉田均、2013年10月10日)、「姉妹都市交流から経済交流への試み」『平成25

年度これからの地域の国際化施策の新たな
デザイン～地域の国際化基礎コース～』、
全国市町村国際文化研修所

3. 社会貢献（計5件）

- (1) 公設委員会など（計5件、下記は例示）
 - 1) 「甲府市観光振興計画推進会議」委員（副会長）、甲府市、平成25年度。
 - 2) 「平成23年度富士北麓地域MICE研究会」（会長）、山梨県企画課、平成25年度。
 - 3) 「笛吹市観光振興アクションプラン推進会議」委員（副会長）、笛吹市、平成25年度。